

乳牛輸入で成長する 中国酪農

ウォール・ストリート・ジャーナル（2014年8月22日付）等によると、近年、中国に向けて歴史上最大級の乳牛移動が進んでいるという。今年も、10万頭以上の若い乳用雌牛が、オーストラリア、ニュージーランド、ウルグアイ、チリ、ルーマニアの5か国から中国へ向かう見込みである。

1. 急増する牛乳消費と輸入

近年みられる中国による乳牛輸入の増加は、急増する牛乳の内需を満たすとともに、2008年の致命的な「汚染牛乳スキャンダル」によって消費者の信頼を失った国内乳業にとって、国産牛乳の需要回復への切り札となることが期待されている。

農畜産業振興機構によると、中国乳業協会が発表した2013年の牛乳消費量は約2,300万トンで、L L牛乳や超高温殺菌牛乳の消費が主流である。このうち輸入牛乳のシェアは1%未満にすぎないが、近年急速に輸入量が増加しているため、中国国内の乳業は危機感を募らせているという。とくにL L牛乳の輸入が大きく伸びており、その増加率は乳製品の中で伸びが顕著な全脂粉乳を上回っている。

なお、中国海関総署の報告では、2014年1～7月の牛乳輸入量は、17万2,863トン（前年同期比566%増）となったという。輸入先国別にみると、ドイツが6万9,861トン、ニュージーランドが2万2,744トン、フランスが2万4,071トン、豪州が1万8,133トンと軒並み増加した（表参照）。本年は、牛乳の年間輸入量が30万トンを超える予想である。

年以來25万頭近くも輸入した、と調査会社グローバル・トレード・インフォメーション・サービスは推定している。2012年は12万8,000頭、13年は供給不足により減少したとはいえ、多層型専用輸送船25隻分に相当する10万2,000頭の輸入に2億5,000万ドル強が投じられた。今後数年間は多層型専用輸送船がフル稼働する見込みである。ちなみに、家畜改良センターによると、2013年度におけるわが国の乳用雌牛の輸入頭数は690頭であった。

中国が繊維、玩具、エレクトロニクス製品の製造において国際市場で優位に立つまでに至ったように、中国政府は生乳生産においても圧倒的な存在となることを目指している。このために、大規模な乳業会社の生産目標や優遇税制、その他の金銭的インセンティブなどを策定したほか、外国投資家に資本や技術をもって中国市場に参入するよう奨励している。

中国の酪農業界は、政府の生産目標に沿って、いずれは牛乳製品輸入の減少につながるよう動いている。短期間で中国最大の牧場になった中国現代牧業の創業者兼会長のトウ・九強氏は、「われわれは自ら酪農の問題を解決しなくてはならない」と述べている。中国現代牧業

中国における牛乳の国別輸入量の推移

単位：トン

	2010年	2011年	2012年	2013年	2013年 1～7月	2014年 1～7月	対比
ドイツ	3,077	13,361	37,700	77,430	45,910	69,861	152.2%
ニュージーランド	7,420	17,236	24,662	33,235	18,146	22,744	125.3%
フランス	3,421	4,266	10,257	26,677	17,783	24,071	135.4%
豪州	1,423	4,529	12,981	21,736	13,742	18,133	132.0%
その他	548	1,129	8,195	25,489	14,837	38,054	256.5%
合計	15,889	40,521	93,795	184,567	110,418	172,863	156.6%

資料：G T I 社「Global Trade Atlas」

2. 乳牛輸入による生産性の改善

中国の酪農には改善の余地が多いと言われている。とくに、中国の乳牛は米国の乳牛と比較すると、その生産性は半分以下にとどまっている。つまり、数十年前に欧州から輸入され、科学的繁殖方法を用いることのなかった乳牛の生乳生産量は年平均4,000kgで、米国の乳牛の9,000kgを大幅に下回る。しかも、畜産専門家によると、中国の乳牛に米国産の精液を用いた繁殖でも、いずれ生産性の向上につながるものの、それまでに数十年はかかると言われている。そこで実施されたのが、高い生産性をもつ外国産乳牛の輸入である。中国の乳牛が短期間に競争力をつける唯一の方法は交換ししないと判断したのである。

2009年以來、中国は世界でもっとも重要な乳牛の買い手となり、世界中の乳牛市場価格の上昇に寄与したほか、高栄養飼料のアルファルファや高能力種雄牛の精液の需給を圧迫するようになった。中国は、乳用未経産牛を09

は現在、米国最大規模の牧場をモデルにした牧場15カ所を擁し、さらに4カ所を建設中である。年2万2,000頭のペースで乳牛輸入を続け、2015年前後には輸入と自家育成によって30万頭体制になることを目指しているという。

中国現代牧業は他の大手牧場と同様に政府の大型支援を受けており、2010年と11年に760万ドルの政府補助金を得て、その大半を乳牛購入に充てたと報告書で述べている。2004年に中国現代牧業を創業したトウ氏は、生乳需要増大の波に乗ることを目指している。かれは、2000年代前半に乳業大手の中国蒙牛乳業の幹部として実績を蓄えた。しかし、同社は小規模な牧場やクーラーステーションのネットワークから高品質の生乳を十分に確保することに苦戦した。そこで、中国蒙牛乳業が主要販売先となることを確信し、生乳生産者として独立した。現在、中国現代牧業は生産した生乳の98.5%を蒙牛乳業に販売している。